



～研究者のための情報発信とサイト作成の手引き～



株式会社LabBase 代表取締役CEO

加茂 倫明

1994年京都生まれ。大学勤務者の両親を持ち、幼少期より数学者を志す。
東京大学入学後、先生方先輩方とお話する中で、研究者を取り巻く課題を目の当たりにし、
国内外数社での長期インターンを経験後、
東京大学工学部在学中の2016年に株式会社LabBase（旧POL）を創業。
科学と社会の発展に世界で最も貢献する会社を目指し、
研究エンパワープラットフォームを創造中。

研究の力を、 人類の力に。

私たちは信じている。研究の力を。

電気も、ワクチンも、インターネットも。
人類の今を支える発明やイノベーションは、研究から生まれた。
これからも研究こそが、社会課題解決の土台となり、
未来を創造していこう。

だから私たちは、研究を加速させたい。
研究の力を、もっと人類の力に変えたい。

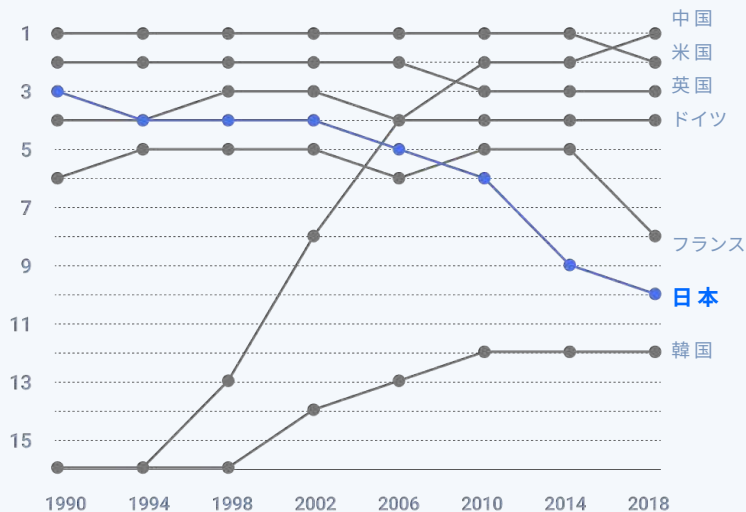
人と人、組織と組織、学術と産業といった壁を超えて、
研究者や、その支援者や、研究の成果がシナプスのように結びつき、
研究自体も、研究が生み出す社会へのインパクトも、飛躍的に加速する。
そんな場をつくり、より明るく、持続的な人類の未来に貢献します。

背景：日本の科学技術力は先進国で低位に

GDP対比では世界トップレベルの研究開発投資を行うも、アカデミアでも産業界でも、その成果は先進国で低位に。

注目度が高い論文への貢献が下がっている

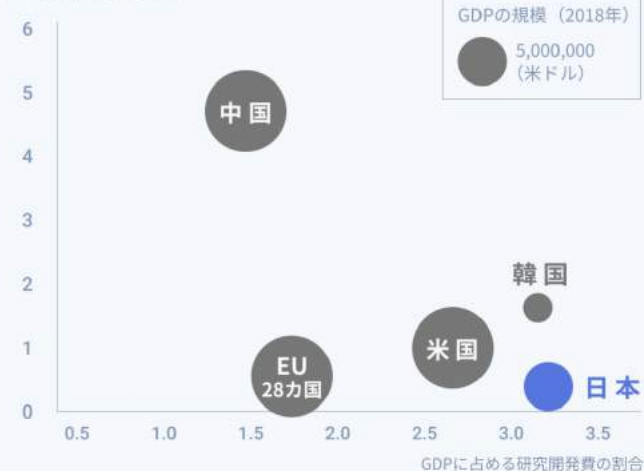
注目度が高い論文への貢献度ランキング⁽¹⁾において、
日本は約30年で3位から10位へ



研究開発投資の技術革新への寄与

産業界でも、多額の研究開発投資は技術革新に
十分結びついていない

全要素生産性に対する研究開発への国内投資額の比率⁽²⁾
%; 1996~2018年
全要素生産性の年変化率



課題：研究ステークホルダー同士の「サイロ化（分断）」

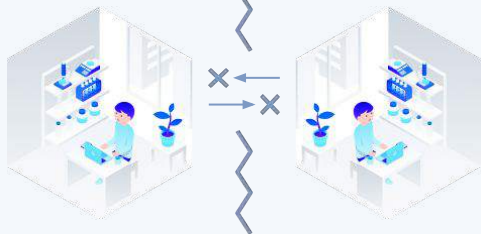
研究もイノベーションも「掛け合わせ」で発展してきたが、現在日本の研究領域には様々な壁（分断）がある。

研究者同士のサイロ

隣の研究室すら
何をやっているか分からない

研究室A

研究室B

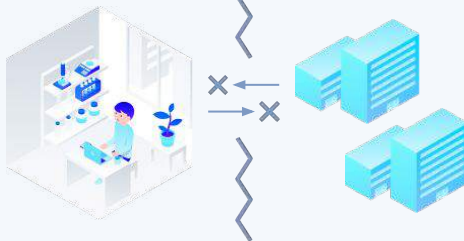


産学間のサイロ

自分の研究に興味を持つ企業が分からない
最適な共同研究相手が分からない

研究室A

企業

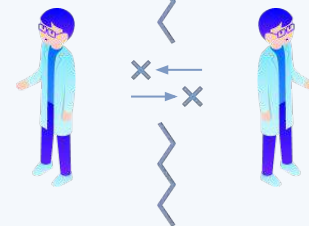


分野間のサイロ

異分野の研究者と話す機会がない

分野Aの研究者

分野Bの研究者

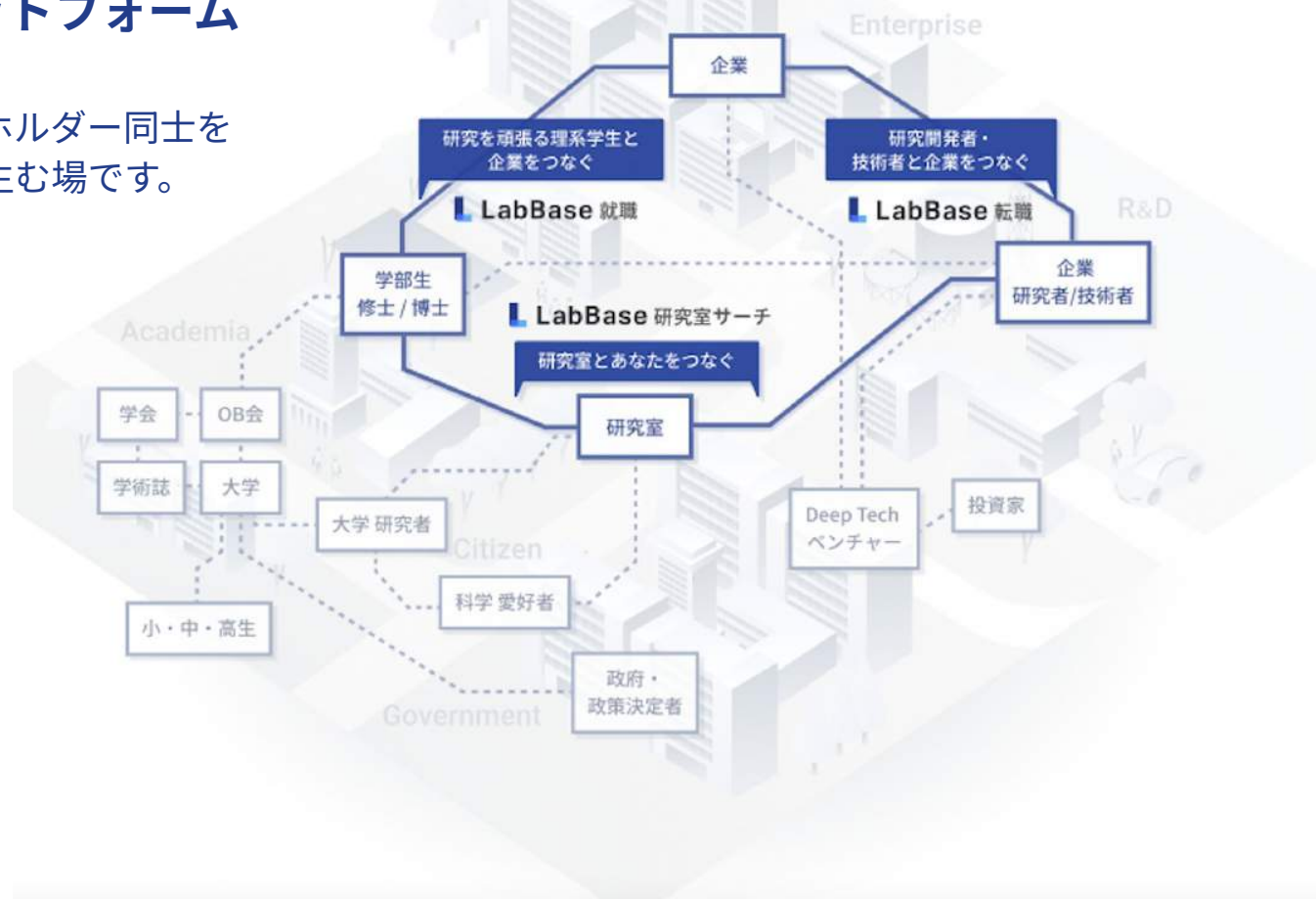


こうしたサイロが、「掛け合わせ」を阻み、
研究とイノベーションの発展にブレーキをかけている。

The Research Empowerment Platform

研究エンパワープラットフォーム

LabBaseは、研究ステークホルダー同士を相互に可視化し、出会いを生む場です。



LabBase全体像 (1研究者視点)

研究室選びに始まり、インターンや就職活動、卒業後も転職活動や研究パートナー探しと、生涯を通して出会いを提供。



「やりたい研究ができる
研究室はどこだろう？」

「自分の研究を活かせる
インターンはどれだろう？」

「自分の研究を評価し
活かせるジョブはどこだろう？」

「自分の研究/スキルを活かせる
ジョブはどこだろう？」

「自社に最適な共同研究/開発の
パートナーはどこだろう？」



LabBase

最適な出会いの提供

事業説明 1

研究を頑張る理系学生と企業をつなぐ

LabBase 就職



LabBase就職 - 既存の代替手段と解決する課題

マス向けの就活サービスや大学推薦では叶わなかった、研究を軸にしたオープンなジョブマッチングを実現。

Before		
	大手ナビサイト	大学推薦/ 研究室OBの紹介
 理系学生	<ul style="list-style-type: none">● 自分のスキルを活かせる企業を探しづらい● 研究が忙しく就活に時間を割きづらい	<ul style="list-style-type: none">● 特定業界や一部の企業に選択肢が限られる● 受かるとは限らないが受かったら断れない
 採用企業	<ul style="list-style-type: none">● 特定の専門性を持った学生に出会いづらい	<ul style="list-style-type: none">● 採用対象が特定の学科や研究室に限られる● 新たに大学や教授と関係構築するのが大変



After	
	LabBase 就職
 理系学生	研究プロフィールを埋めれば、スカウトが届く <ul style="list-style-type: none">● 自分のスキルを活かせる企業/ジョブとだけ出会える● 研究に集中しつつ、効率的に就活をできる
 採用企業	学生の研究データベースを検索し、スカウトできる <ul style="list-style-type: none">● 特定の専門性を持った学生に出会える● 各学生に合わせて自社の魅力を伝えることができる

LabBase就職 - 特徴①：理系学生の詳細な研究データベース

理系学生ユーザーは、研究概要、論文、参加学会、プロジェクト経験、スキル、キャリア志向性などをびっしり記入しており、利用企業は技術キーワードや各種条件で学生を絞り込み、スカウト等アプローチすることができる。

研究成果を余すことなく記載できるプロフィール欄

Profile

研究実績 プロフィール完成度 82%

論文
工学系ユーザーが論文に発表された論文
2022年4月

受賞歴
LabBase学賞 2

出場・所属学会
LabBase学賞 2
2022年10月 - 2022年10月

研究プロジェクト
デジタルエンジニアリング実務
本プロジェクトは、量子アニーリングマシンを用いて、
他、特定の経済産業省の事業計画に基づいて「研究が重要な問題」としてはる程
意を置くことが重要視されています。
研究が重要な問題とは、多岐の観点から最適な解決策を導く問題であり、問題の規模が大きい...

研究概要
研究を一度で済ます、「量子アニーリングマシンを用いて、特定の最適化問題を高速に解く研究」
です。
他、特定の経済産業省の事業計画に基づいて「研究が重要な問題」としてはる程
意を置くことが重要視されています。
研究が重要な問題とは、多岐の観点から最適な解決策を導く問題であり、問題の規模が大きい...

研究の意義
研究を一度で済ます、「量子アニーリングマシンを用いて、特定の最適化問題を高速に解く研究」
です。
他、特定の経済産業省の事業計画に基づいて「研究が重要な問題」としてはる程
意を置くことが重要視されています。
研究が重要な問題とは、多岐の観点から最適な解決策を導く問題であり、問題の規模が大きい...

研究を選んだ理由
研究を一度で済ます、「量子アニーリングマシンを用いて、特定の最適化問題を高速に解く研究」
です。
他、特定の経済産業省の事業計画に基づいて「研究が重要な問題」としてはる程
意を置くことが重要視されています。
研究が重要な問題とは、多岐の観点から最適な解決策を導く問題であり、問題の規模が大きい...

必要な人をピンポイントで見つけられる検索機能

自然言語処理

Search

検索条件

工学 機械工学 電気電子工学 土木工学
 材料工学 プロセス・化学工学 総合工学

就活状況 (OR条件) ▼

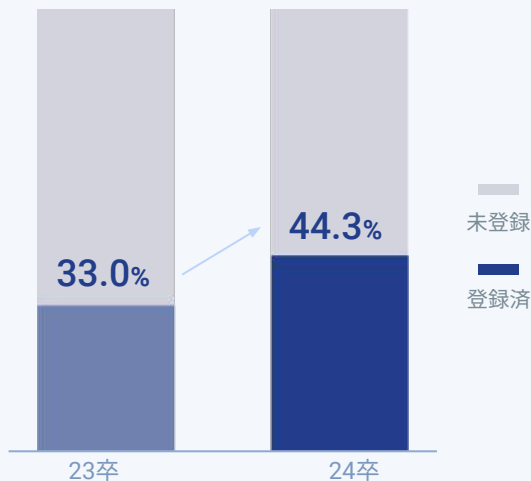
希望職種 (OR条件) ▼

企業規模 (OR条件) ▼

LabBase就職 - 特徴①：産業界のニーズの高い優秀な理系院生が数多く登録

国内理系修士の約44%が登録するところまで成長。引き続き登録シェアは拡大ペース。
また、産業界の強い分野の学生や、研究力の高い大学の学生が数多く登録している。

国内理系修士の登録シェア44%⁽¹⁾



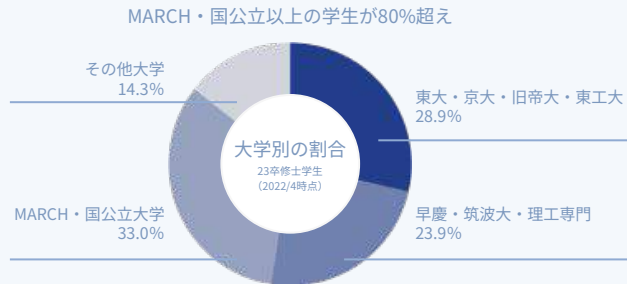
産業界のニーズが高い学生が多く登録

AI 関連学生⁽²⁾の登録人数 **3,600人以上**

半導体 関連学生⁽³⁾の登録人数 **1,100人以上**

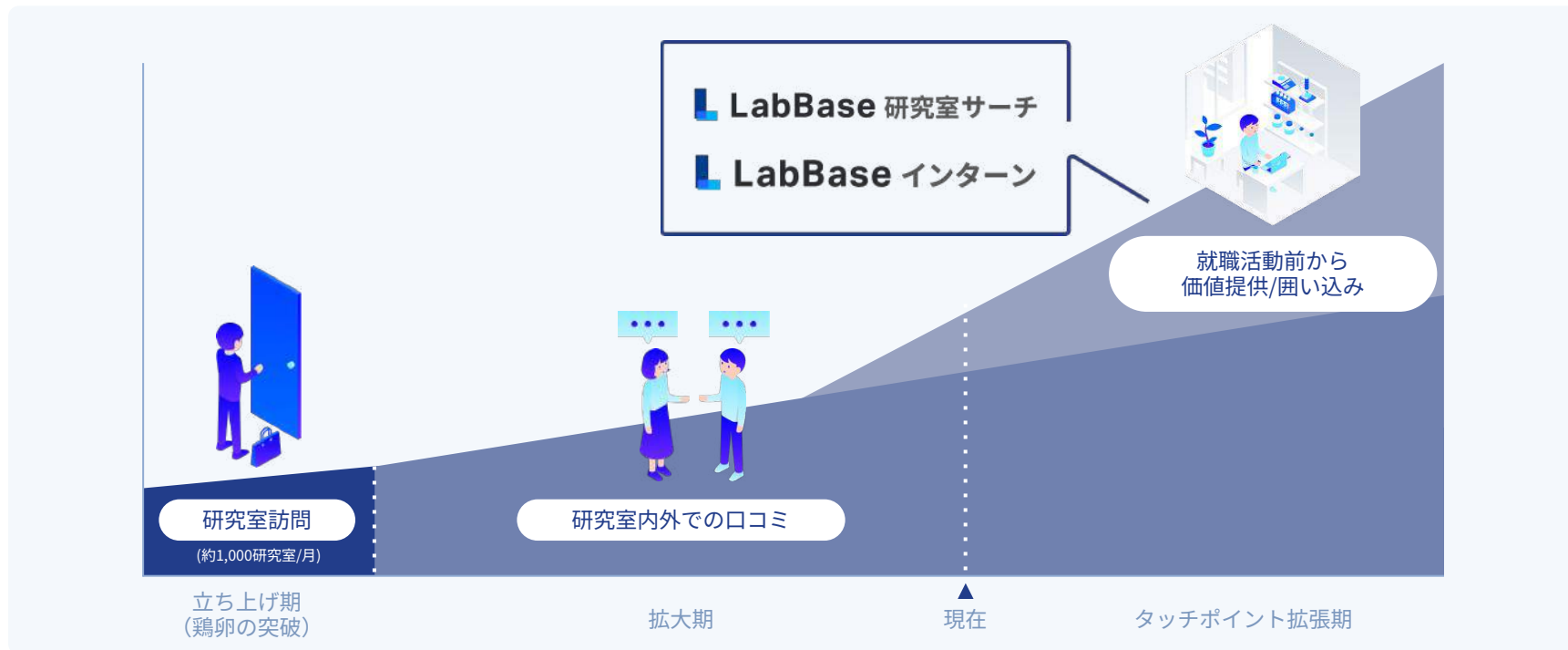
機電系 学生⁽⁴⁾の登録人数 **4,000人以上**

情報系 学生⁽⁵⁾の登録人数 **3,300人以上**



LabBase就職 - 特徴①：ユーザー獲得の仕組み

研究室とのネットワークづくりに始まり、現在は口コミおよび新規サービスによる流入と、模倣困難な手法で理系学生のシェアを拡大中。



LabBase就職 - 特徴①：就職活動開始前からの価値提供と囲い込み

入る研究室を選ぶ際や、インターンを探す際から、LabBaseを使っている。



LabBase 研究室サーチ

研究室とあなたをつなぐ、研究室検索サービス

分散した研究室情報を網羅的に探すことができる、
研究室・研究者情報に特化した、検索サービスです。



LabBase
インターン

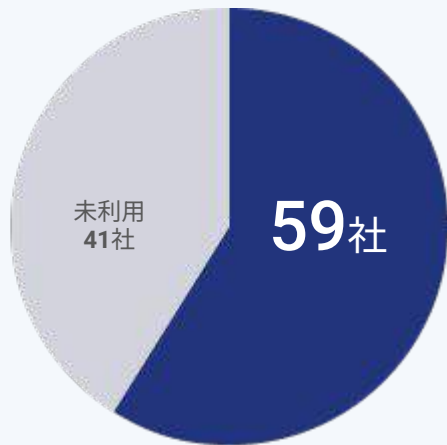
研究を活かせるインターン応募サイト

学生の研究・技術をもとに自身にピッタリな
企業の研究・技術部門のインターンを
探して応募することができるサービスです。

LabBase就職 - 特徴②：研究開発企業の磐石な顧客基盤

研究開発や先端技術をコアに据えている企業を中心に、各業界の主要企業で導入いただいている。

研究開発費TOP100⁽¹⁾企業の利用シェア⁽²⁾



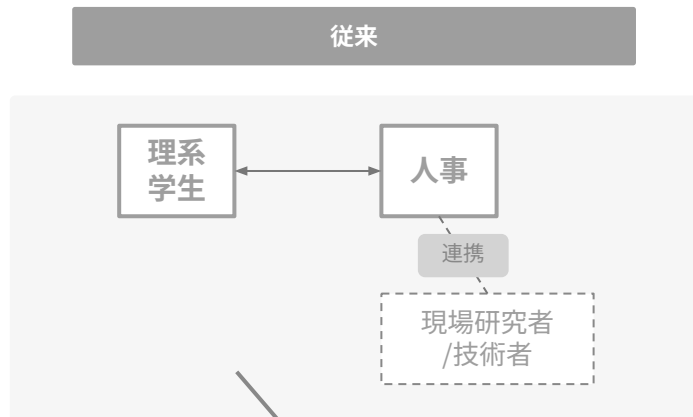
各業界の主要企業が利用⁽³⁾



LabBase就職 - 特徴③：人事だけでなく、現場の研究者/技術者も活用

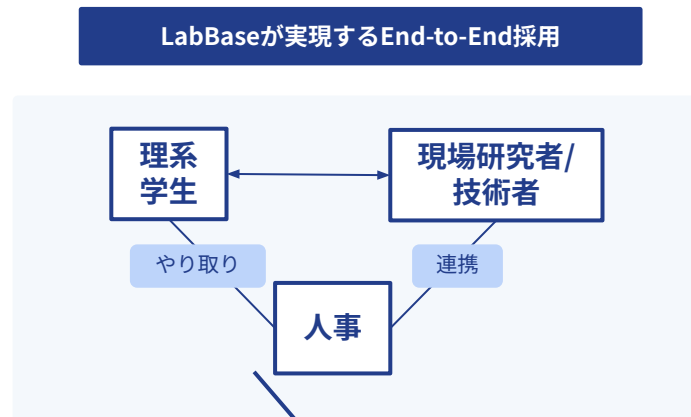
人事だけでなく、現場の研究者/技術者もLabBase就職のアカウントを持ち採用に関与。

それにより、各ジョブにマッチした人材の見極めおよび魅力づけが可能になる上に、スイッチングコストは高い状態に。



- 専門的な人材要件定義が難しい
- 技術的な見極めが難しい
- 研究内容等での魅力付けが難しい

採用ツールは人事が選ぶOne of Them
(スイッチングコスト低)



- 専門的な人材要件定義が難しい
- 技術的な見極めが難しい
- 研究内容等での魅力付けが難しい

現場も含めて使う唯一無二のサービス
(スイッチングコスト高)

「会社や人事と出会い、就社する」から、 「研究者同士で出会い、就職する」へ。

我々は、研究者/技術者の就職活動を再発明する。
企業の中の研究内容や技術が見えない中で、企業イメージで受ける会社を決め、
表面的な面接対策やイベントに勤しみ、研究を理解できない人事に自己PRし、
何のジョブに就くかも分からないまま就社するのは、おかしくないか。

LabBaseでは、現場の研究者/技術者と理系学生との直接の交流を人事と協働して実現し、
相互に理解を深めた上での相思相愛なマッチングを生む。

技術セミナー/研究セミナーを累計100回以上開催、日常的な交流機会を提供

LabTech Talk

Presented by LabBase 転機

Matlantis がもたらす革新的なマテリアルの創出



岡野 原大輔 氏
株式会社Preferred Networks
代表取締役 最高技術責任者
株式会社Preferred Computational Chemistry 代表取締役社長

LabTech Talk

Presented by LabBase 転機

Python ではじめるベイズ機械学習入門



須山 教志 氏
アグセンチュア株式会社
ビジネス コンサルティング本部 AIグループ、シニア・プリンシパル

LabTech Talk

Presented by LabBase 転機

データサイエンティスト・メーカー所属の方必見 化学のものづくりにおけるデータサイエンス最前線




金子 弘昌 氏
理法大学 准教授
フロンティア先端科学部 270 号 理法大学 理学部 理学系 理学専攻 理学系 理学専攻 理学系 理学専攻

11.2 19:00-20:30 水 @zoom 参加無料

LabBase 転機

LabTech Talk

ベイズ能動学習による統計的実験計画 ~ベイズ最適化・能動的レベル集合推定の基礎と応用~



**名古屋大学大学院医学系研究科生物統計学講師
松井 孝太 氏**
医学や材料科学などのスモールデータ問題に対する統計・機械学習の方法や適用に関する研究に従事。

オンライン無料
10/19(水) 19:00*

LabTech Talk

Presented by LabBase+

統計的因果推論の有用性と活用例の紹介




高橋 尚宏 先生
理法大学 理学部 統計学専攻 准教授
2009年12月 - 2014年6月 理法大学 理学部 統計学専攻 准教授
2014年7月 - 2017年6月 理法大学 理学部 統計学専攻 准教授
2017年7月 - 2020年6月 理法大学 理学部 統計学専攻 准教授
2020年7月 - 2022年6月 理法大学 理学部 統計学専攻 准教授

8.26 19:00-20:30 金 @zoom 参加無料

LabTech Talk

Presented by LabBase 転機

統計的因果推論は「交絡」の問題だけではない ~データサイエンティストが見落としがちな視点~



芝 孝一郎 氏
ポスドク 理法大学 理学部 統計学専攻 アシスタントプロフェッサー
ハーバード大学で博士号取得。専門は統計的因果推論の社会医学研究への応用。
トウモロコシやポテトの心臓が糖質・フェルロニウムに与える影響について研究。統計学と因果推論の「考え方」に関して、ブログ執筆。

11.22(火) 12:30-13:30 @ZOOM 参加無料

LabTech Talk

Presented by LabBase 転機

因果推論のための研究デザインとデータ解析



**東京医科大学 医療データサイエンス分野 教授
田栗 正隆 氏**
東京大学理学部、同大学院にて博士号取得(医学)。2011年に日本医科大学大学院医学研究科、専攻は生物統計学、疫学、公衆衛生学。統計的因果推論や因果推論に関する方法論的研究を行うとともに、実用研究、政策立案研究などに際する課題や技術開発を行っている。

11.4(金) 19:00-20:30 @zoom 参加無料

LabTech Talk

Presented by LabBase 転機

機械学習とデータマイニングの投資戦略への応用



中川 慧 氏
野村アセットマネジメント 資産運用部 投資戦略研究科
野村アセットマネジメント 資産運用部 投資戦略研究科にて、AI/機械学習とデータマイニングの投資戦略、市場動向の分析と投資戦略の構築に携わっています。

10.21 19:00-20:30 金 @zoom 参加無料

LabTech Talk

Presented by LabBase 転機

Kaggle Grand Master カレーちゃんが語るクロスバリデーション



カレーちゃん
2018年に公務員を退職後、専業のKaggleに参入。2022年5月 Kaggle Grand Masterの称号を獲得。

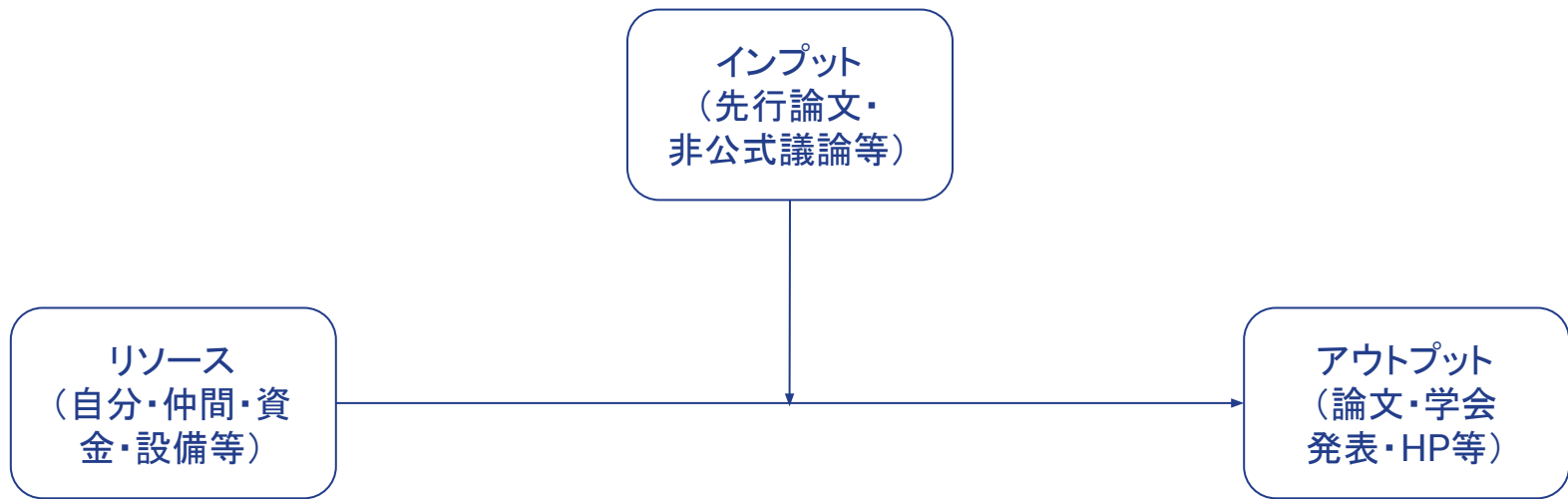
11.8

研究者として生きている皆さんに、
研究者として生きていくかもしれない皆さんに、
少しでも可能性が広がる出会いを提供したい。

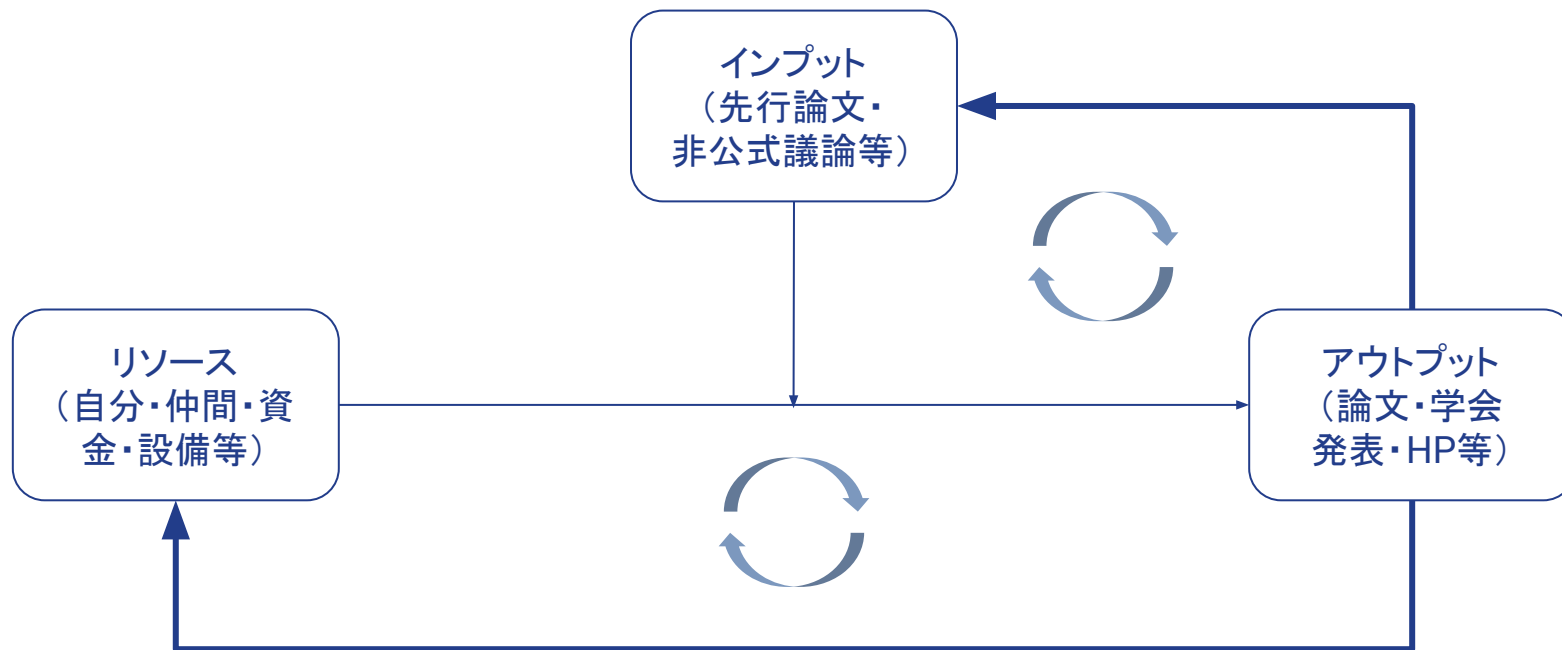
■ 今日お話ししたいこと

- **なぜ情報発信が大事なのか**
- **誰に対して、何のために**
- **“今の時代に” 効果的な情報発信をするためのポイント**

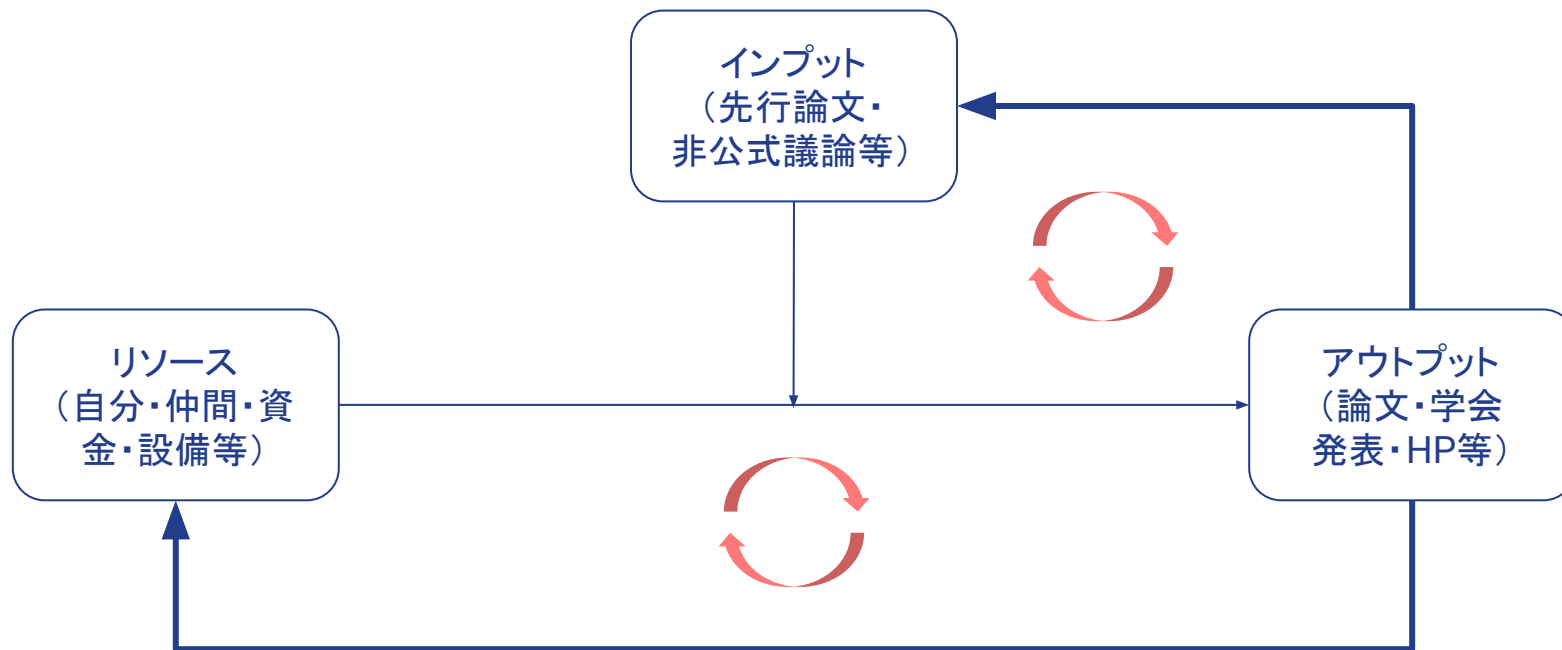
研究活動の簡易構造



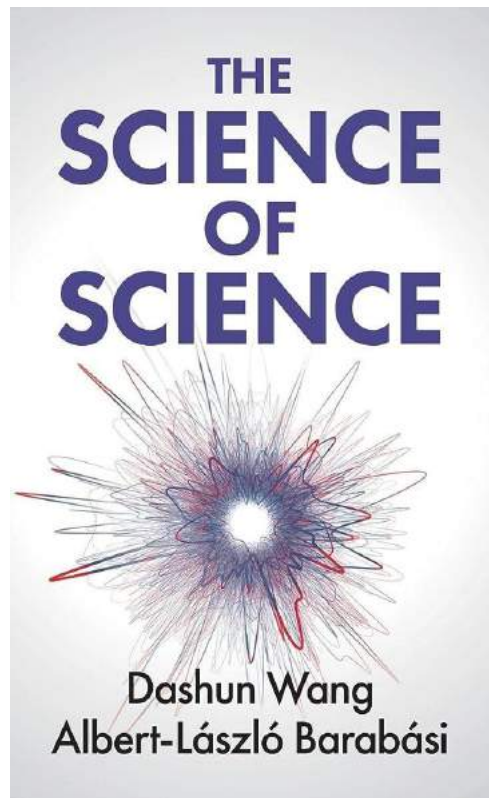
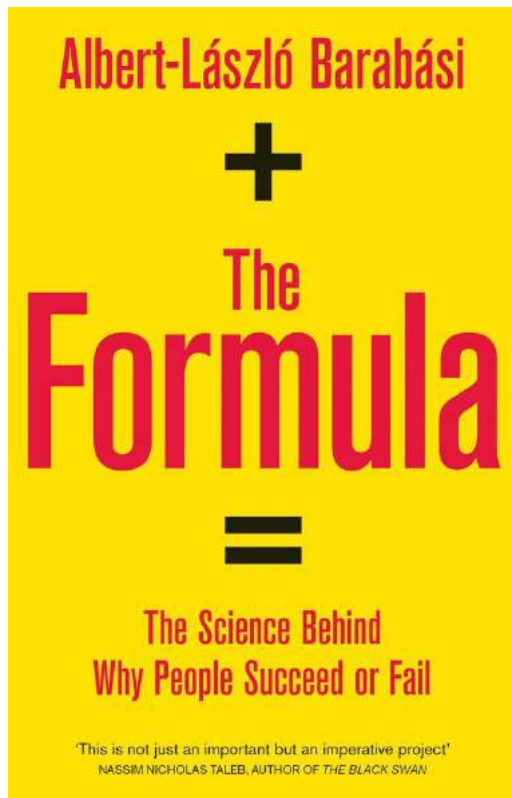
研究活動の簡易構造 - 強いフィードバックループの存在



研究活動の簡易構造 - 強いフィードバックループの存在



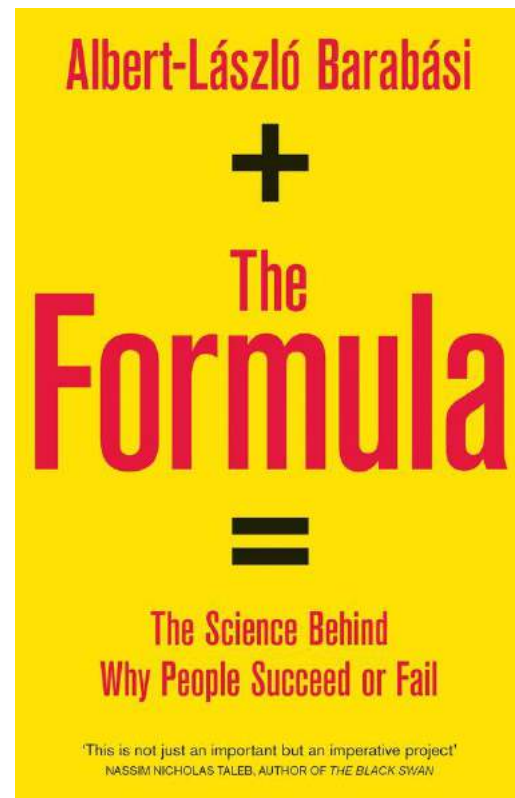
このループを強化するのが
情報発信/ネットワーキング



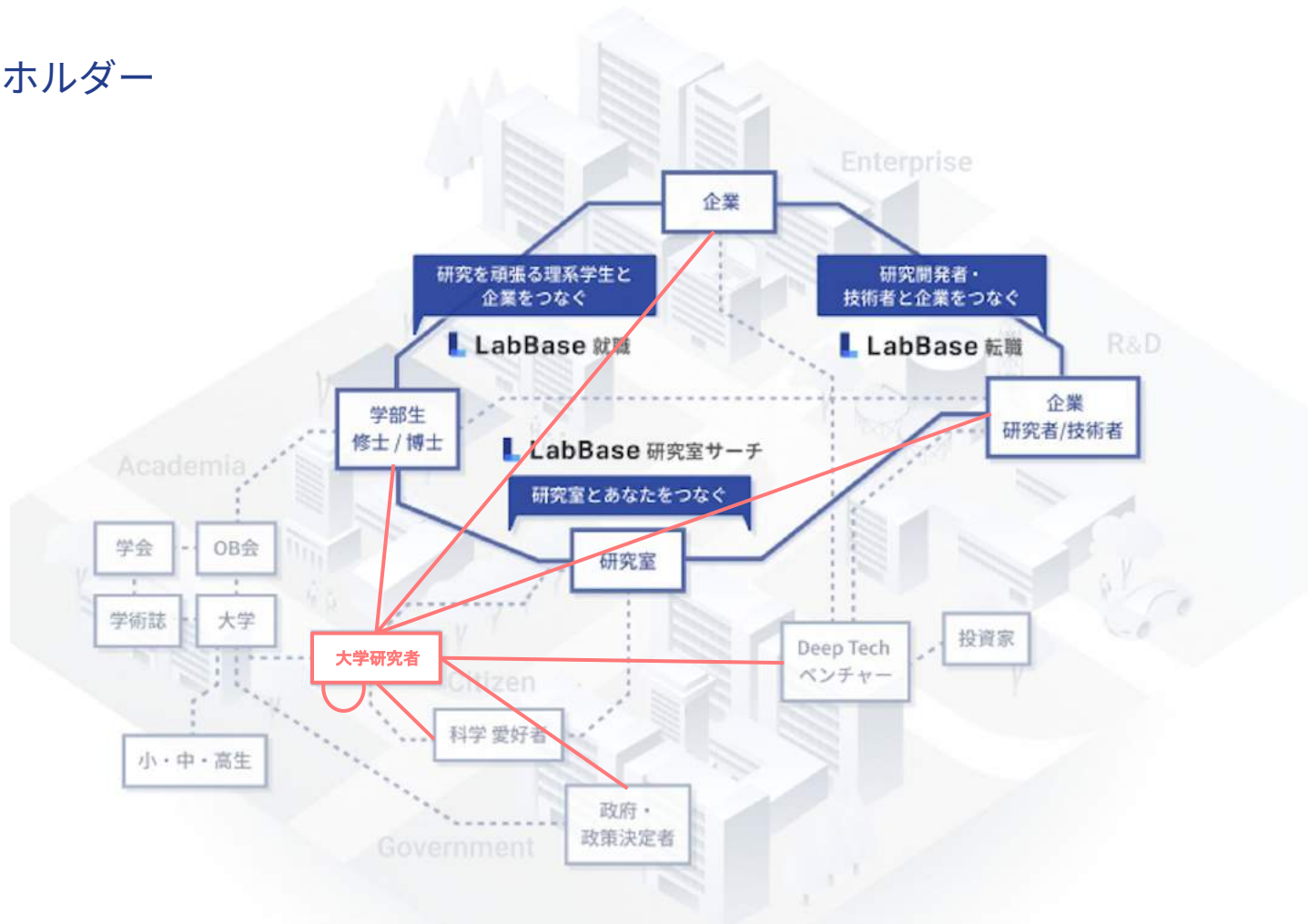
研究における成功とは？

“パフォーマンスが成功を促す。
パフォーマンスが測定できない時には、
ネットワークが成功を促す。”

“成功で重要なのはあなたではない。
社会なのだ。”



ステークホルダー



「今の時代に」効果的な情報発信をするための3つの観点

情報収集源の変化

琴線や基準の変化

想定外の有意義な
出会いを生むために

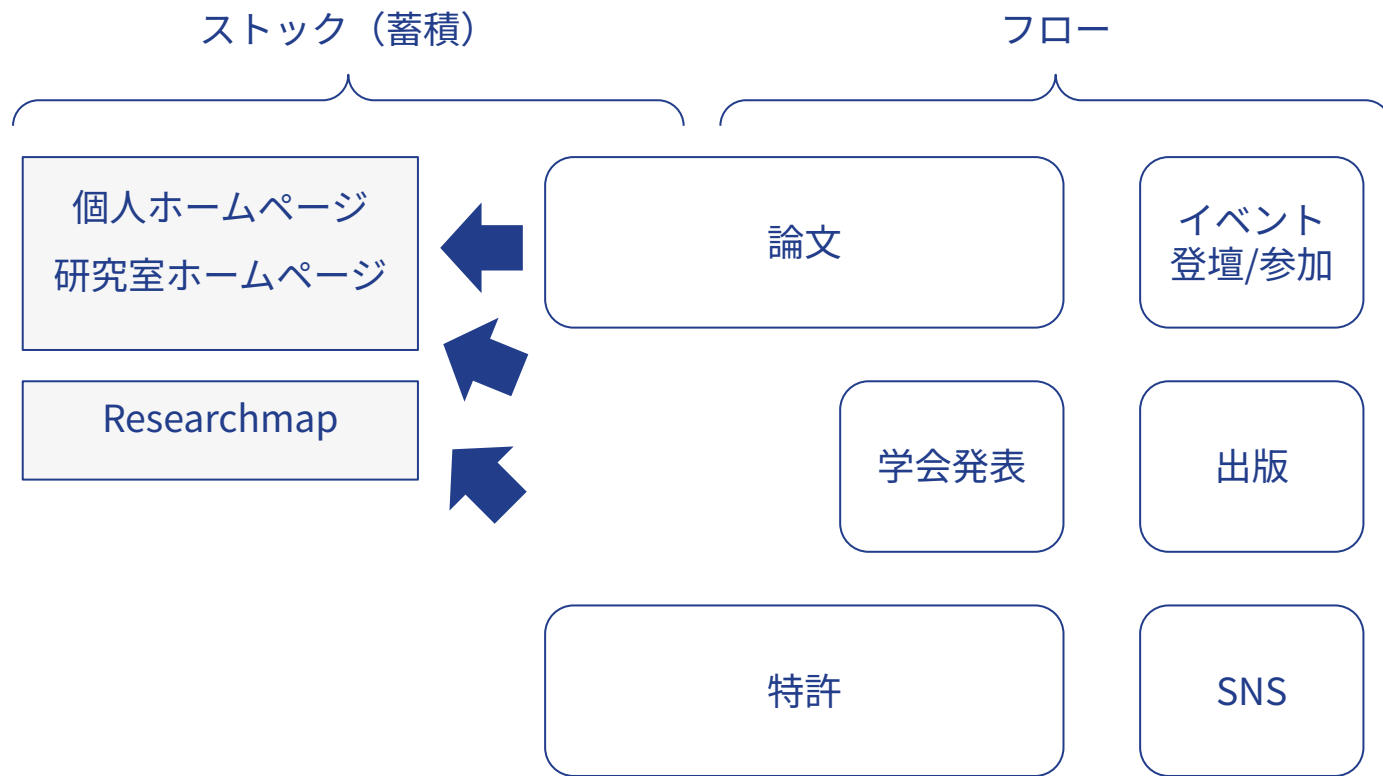
インターネット ↗

意義・思想・ビジョン ↗

■ 想定外の有意義な出会いを生むために

専門外の人にも読者として意識

ストックとフロー



研究者サイト作成における問題点

- 作ってもあまり見られない、見つけてもらいづらい
- デザイン/運用/保守に手間がかかる

簡単に発信ができて、仲間/知/資金が見つかる場。
一緒に作りませんか？

ようこそLabBaseプラットフォームへ

LabBaseは、研究に関わる人たちが繋がる場です。

LabBaseプラットフォームは、現在開発中のテストバージョンを提供しています。利用できる機能は予告なく変更されることがあります。

LabBaseに参加する

<https://space.labbase.jp/>